



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第42号



おかげさまで20周年 感謝の心を込めて ……山形村福祉のつどい

12月7日、ミラ・フード館2階のホール・ミラにて、平成20年度山形村福祉のつどいが開催されました。

当日は、福祉活動協力者の方々に感謝状をお贈りしたことに加え、法人設立20周年を記念した社協会長特別表彰も行われ、地域貢献に尽力された企業・団体の皆さんに表彰状を贈りました。

「おかげさまで20周年 今までも これからも」——新年も山形村社会福祉協議会を宜しく願いたします。

(詳しくは1ページに)

おかげさまで20周年—「山形村福祉のつどい」開催…	1・2
まほろばトピックス～よもやま話～……………	3～6
平成20年度共同募金運動の実施結果……………	7
ボランティアセンターよりお知らせ……………	7

おかげさまで20周年 今までも これからも

平成20年度 山形村福祉のつどい 開催される

12月7日、ミラ・フード館2階のホール・ミラにて、平成20年度山形村福祉のつどいが開催されました。

今年は、山形村社会福祉協議会が法人化して20周年を迎えました。そのため、今回の福祉のつどいでは表彰式に加えて、記念式典・記念講演会といった記念行事も行われました。

つどいには、たくさんのお客様にお越しいただき、ホールが満員にならばかりの盛会となりました。誠にありがとうございました。

20周年を機に、もっと地域のお役に立てるよう、職員一同決意を新たに、事業に取り組んでまいります。

福祉活動協力者表彰(感謝状贈呈)

- 宮 寄 一 雄様(見性寺住職)
- 上 條 明 昭様
- 上 條 美知子様

法人設立20周年記念

社協会長特別表彰(表彰状贈呈)

- 松本ハイランド農業協同組合山形支所様
- 株式会社小林創建様
- 株式会社ヤマジン様
- キヨミズ開発有限会社様
- サンリン株式会社様
- 株式会社オーイケ様
- 平沢土建株式会社様
- 民話クラブ 灯様
- かたくりの会様
- 人形劇サークルてぶくろ様
- クレヨンママ様

平成20年度 山形村福祉のつどい 表彰式 山形村社協 法人設立20周年記念



達沢社協会長の開式の辞



宮寄一雄様

サンリン株式会社様

民話クラブ 灯様



株式会社小林創建様



▲かたくりの会様



▲人形劇サークルてぶくろ様



▲クレヨンママ様

記念講演会

講師：正司歌江さん(俳優・タレント)

記念講演会は、午後1時30分より「明日に生きる～笑い
と涙と希望の人生ドラマ～」をテーマに、講師 正司歌江
さん(俳優・タレント)をお迎えして行われました。歌江
さんは、現在俳優業で活躍されているほか、全国各地を講
演会で巡っていらっしゃいます。



山形村には、25年前に講演会でお越しいただいたことが
あり、「再度同じ地域に呼んでもらえることはしあわせ」、「25
年ぶりの里帰り」と講演の中でお話しされていました。

歌江さんご自身の幼いころのエピソードから現在の家族の私生活まで、余すことなく笑いを交えなが
らお話ししていただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

講演内容の一部をご紹介します。

夫との夫婦生活を長続きさせる秘訣は、夫の親戚に良くすること。そうすると自分の親戚にも夫
から良くしてもらえる。夫の言うことを自分がよく聞くことで家庭が円満になる。どんなことでも
人に頼まれたことは“させていただきます”と思いながら行動すること。「人が好き」で出会いを大
事にしている。自分はお金の貯金はないけれど、“心の貯金”はたくさん持っている。心の貯金はい
くら使っても減らないので、心の貯金をふやしていきましょう。

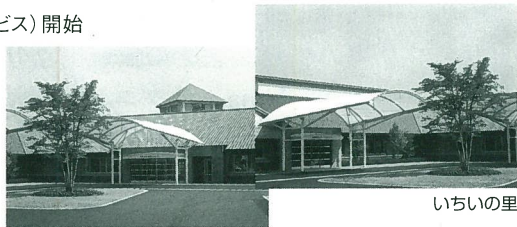
歌江さんをお見送りする時、ファンによる握手会が自然に行われ、ご来場の方たちもたいへんご満足
された様子でした。

山形村社会福祉協議会 20年の歩み

日付	できごと
昭和63年7月19日	社会福祉法人設立/任意社協の諸事業を継承
平成元年6月16日	デイケアサービス開始(村との協働事業)
平成3年7月	デイサービス事業運営開始(トレーニングセンターで)
平成4年4月	ボランティア連絡協議会運営開始
平成6年5月1日	ふれあいの館に事務所移転
6月1日	デイサービスふれあい事業を村より受託し、運営開始
9月9日	優良社会福祉団体として県社協会長表彰を受ける
平成7年7月1日	ふれあい児童館事業・放課後児童対策事業・ふれあいの館管理運営業務を村より受託し、事業開始
平成9年	ボランティアセンターの設置・運営開始
平成10年4月1日	ホームヘルプサービスの早朝・夜間・祝祭日訪問(ホリデーサービス)開始 デイサービスセンターふれあいの規模拡大
平成11年10月1日	居宅介護サポートセンターふれあいを設置
平成12年4月1日	介護保険制度スタート 介護保険事業所としての事業運営開始 介護予防・生活支援事業を村より受託し、運営開始
平成13年5月	配食サービス事業を村より受託、運営開始(月・水・金の配食)
9月	保健福祉センターいちいの里に事務所移転
平成14年	社協会員による地域生活支援ネットワーク「ぼぼねっと」の組織化
平成14年4月	ぼぼねっとタイムケアサービス・ぼぼねっと生きがい活動支援サービス・ ぼぼねっと配食サービスの開始
平成15年10月	住民有志(ぼぼねっと企画)による「むかごちゃんプロジェクト」の実施
平成16年11月12日	「優良活動社協」として、全国社会福祉協議会長 より表彰を受ける
平成17年4月	グループデイホーム事業を村より受託し、運営開始
平成18年4月12日	コミュニティハウス建部の里開設
平成19年4月	地域福祉活動計画策定に向けた取り組みを開始
平成20年4月1日	社会福祉協議会の組織・機構改革



福祉だより(現「まほろば」)
昭和63年創刊号



いちいの里



商品化されたむかご



建部の里



ふれあいの旅

潮の香と過ごす2日間

10月18日(土)~10月19日(日)に、地域ふれあい交流事業「ふれあいの旅」として千葉県総への一泊旅行が行われました。この「ふれあいの旅」は村内在住の身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方を対象に毎年行われており、今回は8月の日帰り旅行に続き、2回目の旅行となります。今回も松本大学の学生ボランティアの協力を得て、約20名でバスを貸し切った旅行となりました。

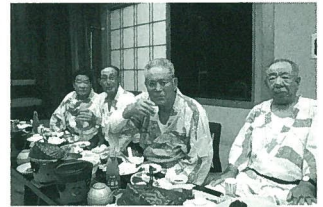


1日目、朝早く出発し、東京湾を横断するアクアライン（海中トンネル）を通して、そのちょうど中間地点にあたる「海ほたる」にて食事をしました。360度を海に囲まれた絶景を満喫しながら名物のあさりご飯をいただきました。

千葉県に入り、TEPCO 新エネルギーパーク火力発電所を見学し、電気の面白さや不思議さに触れました。宿泊したホテルは海に隣接し、部屋の窓からの眺めもよく、皆さんゆったりと1日の疲れを癒すことができましたようです。



2日目のさわやかな朝、ホテルにほど近い場所にある日蓮上人ゆかりの誕生寺へお参りをしました。それぞれ旅の安全を祈願し、房総半島最南端に立つ白亜の野島崎灯台に向かいました。周辺を散策して象徴的な灯台をバックに記念撮影。皆さん良い思い出を作ることができたようでした。



レストラン等もあるおみやげ市場の金谷港ザ・フィッシュでは、びわや落花生など千葉の名産品等のお土産をたくさん買っていました。参加者の中には、1日目と比べて荷物が2倍以上になっているのでは？という人も…。



最後に、お酒好きにはお待ちかねの小泉酒造にて見学・試飲を行い、大満足の2日間の締めくくりとなりました。



今回の旅は少し遠出をしましたが、バスの車内では学生ボランティアが企画したクイズ大会やカラオケをして楽しく過ごすことができましたようです。現在、来年度の「ふれあいの旅」を企画中です。毎年参加して下さっている方、まだ参加したことのない方、皆さんで作る旅を目指していますので、要望や感想などお気軽にお聞かせください。また来年度も新たな旅に出かけましょう。

アフリカ音楽コンサート ~からだで感じる「アフリカの音」~

10月11日(土)、ふれあい広場で、アフリカ音楽コンサートが開催されました。

西アフリカのマリケ族の伝統的なリズムやダンスを中心に活動しているグループsabunyuma・サブニュマ出演で「アフリカの楽器やアフリカの踊りを体験しよう！」をテーマとして開かれました。

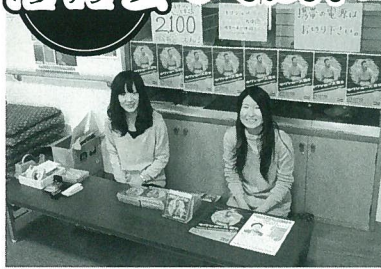


まず、参加者はアフリカの楽器の体験をしました。西アフリカで伝統的に演奏される太鼓ジャンベの説明を受け、叩く強さや叩く場所による音の違いを感じながら演奏を体験し、子どもたちは輪になってリズムを口ずさみながら演奏しました。また、リズムに合わせた独特なステップや踊りを教わるなど、アフリカの伝統的な踊りを体験しました。からだを思いっきり動かすことで心も身体も温まり、会場にいた全ての方々がお互いに交流を深めていました。

今回のイベントは「素敵な出会い」「手と手をつないで出会いの輪を広げる」をキーコンセプトに企画されました。今後も地域にある身近な場所で「子ども同士の交流」、「世代間の交流」の機会をつくり、さらには、自然環境やコミュニケーションの大切さを学ぶ企画を考えていきたいと思ひます。



落語会 笑顔あふれる落語会



11月29日(土)に上竹田公会堂、11月30日(日)には中大池語り部の館にて、他地区でもおなじみの古今亭菊生師匠にお越しいただき、落語会を行いました。

前座の春風亭朝呂久さんの落語を一席、真打ちの古今亭菊生師匠の落語を二席聞き、菊生師匠から「落語をおもしろく聞くコツ」などを教えてい

ただき、笑いのであふれる会場で、楽しい時間を過ごしました。

更に中大池では、公民館主催で例年行っているお達者祝賀会の趣向を変え、地区の高齢者を招待客として招き、一般区民の方も参加して「お達者ふれあい寄席」として開催しました。今年結成した中大池祭りばやし保存会によるステージもあり、地区の子どもたちがお祭りのために一生懸命練習してきたおはやしの発表を、参加者は笑顔で見守っていました。

社会福祉協議会では、このような様々な世代が楽しめる企画を各地区や公民館と一緒にやることで、地域の皆さんが明るく暮らせるまちづくりをしていきたいと考えています。1月には小坂、3月には下竹田でも落語会を開催する予定ですので、楽しみにしててください。



リフトバス“赤い羽根2号”地域の足となって

10月1日、リフトバス車椅子仕様車が、山形村社会福祉協議会に納車されました。

この車は、県共同募金会の登録会員運送サービス自動車購入配分事業を利用して購入したものです。リフトがついているので、車椅子2台が楽々乗車できます。共同募金活動にご協力いただいた皆様のおかげと、心から感謝申し上げます。

山形村社会福祉協議会は、地域福祉サービスのますますの向上をめざして、身体の不自由な方やお年寄りの方々を対象にした移動支援活動等にこの車を活用して地域の足となり、通院や外出の充実をはかっていきます。





デイサービス通信 4

食欲の秋、運動の秋、読書の秋…。いろいろな秋がありますが、デイサービスセンターいちいの里にも秋がきました。



9月の詩吟はいつもすてきな演奏をしてくださる増沢さんと大月さん、二胡演奏会は中村さんが来所され、芸術の秋を堪能しました。演奏会では、職員がバイオリン演奏とバトン演技を披露し、利用者様と職員が一体になった楽しい時間を過ごすことができました。

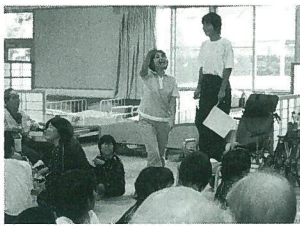
最近催されたイベント

- 9月 ● 詩吟演奏会
- 二胡演奏会
- 演奏会 (バイオリン他)
- 白峰祭見学
- 誕生日会
- 10月 ● 運動会
- 誕生日会
- 11月 ● 落語会
- 誕生日会



中学生が来所しました。

11月に鉢盛中学校の生徒さんが来所されました。紙芝居を読んでもくれたり風船バレーに参加してくれました。また、ボランティア活動で窓拭きや古布切りをしてくれました。本当にありがとうございました。

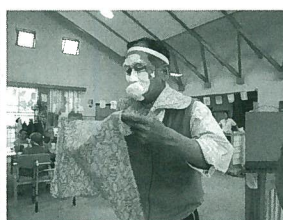


また、白峰祭の見学では中学生の作品を見たり、音楽会を鑑賞しました。帰りの車の中は、中学生のパワーをもらった利用者様が元気に感想を聞かせてくれました。

10月は運動会が行われました。利用者様と職員がそれぞれに分かれて、玉入れや紐引き、パン食い競争に挑戦しました。運動会の締めは、職員による「大福とり競争」。粉の中の大福を取り、おしろい

できれいになった顔を楽しんでいただきました。11月は落語会がありました。ボランティアの落語「まんじゅうこわい」等、楽しく聞くことができました。途中、職員や利用者様が参加した「大喜利」の言葉遊びでは、利用者様も職員も頭をフル稼働

させました。おかしい答えを出した職員はペンギンや猿に変身しました。



今後のデイサービスのイベント

- 12月 ● クリスマス会
- 誕生日会
- 1月 ● 新年会
- 誕生日会
- 2月 ● 誕生日会

職員も学びの秋!

11月、デイサービスいちいの里に勤務している職員は山形消防署の方に協力していただき、普通救急法の学習をしました。職員は、気道確保の仕方や心臓マッサージ、AEDの取り扱い方法などを学びました。



ヘルパー通信 「こんにちは ヘルパーステーションいちいの里です」

ヘルパーステーションいちいの里は、年間を通じてさまざまな研修や勉強会を企画し、自己研鑽をしています。

今回は、どこのお宅にもありそうな材料を使って、食べやすい料理の方法を研修しました。

訪問先のお宅で作って見たところ、「食べやすい」「美味しい」と大変喜んでいただいています。その言葉を励みに、限られた訪問時間の中でその方に合った食事を提供できるように、今後も研修を重ねていきたいと思ひます。

今回の研修の中で、特に好評だったのが大学イモです。

サツマイモの皮をむき、口に入れやすいようにスティック状に切ります。それを

目安量は、次の通りです

- サツマイモ(中)1本約300g
 - 砂糖30g ●薄口醤油15g ●水25g
 - お好みで黒ごま 少々
- (※ごま塩で代用することもあります)

を低温の油でゆっくりと揚げて、油をよく切ってからタレにからめます。

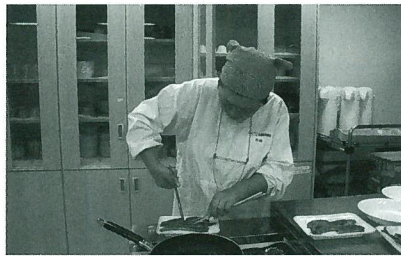
また、油で揚げた芋を、水をやや多めに入れた調味液で煮ると、さらにしっとり柔らかく仕上がります。よろしかったらお試しください。



「ヘルパーさんと作ると元気が出るよ」



早速、利用者さんと一緒に作ってみました



ここに切れ目を入れると骨が取れやすいかもね!!



この切り方だと食べやすいのかな？

楽しくおいしく 新そばを 建部の里 そば打ち会

「そばは建部にかぎる」???

11月25日と28日、そば打ちが趣味という村内ボランティアの方をお迎えして、建部の里でそば打ち会が催されました。

この会は、いちいの里「生きがいデイサービス」および、建部の里を利用している方々の交流の機会として企画されたものです。両日とも、20人程度の皆さんが参加してくださいました。

そば打ちに使った粉は、建部の里にある畑でとれた実を挽いたものです。両施設の利用者の皆さんが8月に種をまき、大事に育て、この秋に収穫を迎えました。

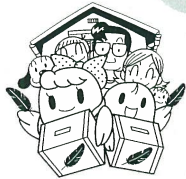


いざ、そば打ちスタート。ボランティアの方の指導のもと、参加者の皆さんもそば打ち体験に挑みました。初めはこわごわ、手探りだった皆さんも、いつのまにか気分は達人。

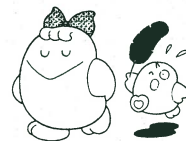
打ったそばは早速ゆでられ、参加者と職員みんなでおいしくいただきました。

そば打ちに塩は使いませんが、まさに“手塩にかけた”そばはひと味違い、また格別だったことでしょう。

あたたかな善意、ありがとうございます



赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動の実施結果



平成20年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、10月1日から10月31日にかけて実施したところ、下表のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金しました。この募金は、その一部が平成21年度において、配分金として村社会福祉協議会へ交付され、各種福祉事業に充てられることとなっています。

平成20年11月28日送金（単位：円）

上大池	中大池	小坂	下大池	上竹田	下竹田	募金総額
248,500	177,000	402,500	195,500	493,500	528,500	
職域		山形小学校		店頭募金（51店舗）		2,100,454
2,010		13,006		39,938		

【ボランティアセンターよりお知らせ】

◇収集ボランティア

年賀状の季節となりました。ボランティアセンターでは、収集ボランティアとして書き損じハガキの収集を行っています。収集したハガキは、「空飛ぶ車いす」という事業へ協力して役立てたいと思います。

※「空飛ぶ車いす」とは…

日本で使用されなくなった車いすを、工業高校生などが学んだ技術を生かして整備・再生し、アジア諸国で車いすを必要としている人たちにプレゼントするボランティアリレーです。

他にも、1円玉募金、古切手、使用済みプリペイドカード、シャープペン、ボールペンの収集も行っていますので、ご協力をお願いします。

◇ボランティア講座

前回の広報41号でお知らせしたボランティア養成講座ですが、今回は「ボランティア講座」として、2月～3月頃に1日の講座を開催する予定です。現在、ボランティアさんと一緒に企画を進めていますが、講座開催に協力してくださる地域の方を募集しています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

◆お問い合わせ先

☎97-1165 山形村ボランティアセンター（建部支所） 担当：小澤

☎97-2102 山形村ボランティアセンター（いちいの里） 担当：桐原

まほろば

（社協広報／第42号）平成20年12月25日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会（山形村保健福祉センターいちいの里内）

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108